

第11期ハイパフォーマンスプログラム

公益財団法人 日本ライフセービング協会
LS スポーツ本部長 宮部 周作

●目的

日本ライフセービング協会ハイパフォーマンスプログラム（以下JHP P）は、世界大会をはじめとする国際大会において総合順位を上げるために、以下を行う。

- ① 世界レベルで通用する競技者を計画的に育成する。
- ② 世界大会を目標としたチーム作りを計画的に行う。
- ③ ライフセービング指導に携わる者を増やす。
- ④ ジュニア・ユース世代への普及と、競技者層拡大を行う。

●基本方針

1. 強化指定選手選考方法

- ① 強化指定選手は、選考委員会により選出される。
- ② 選考委員会は、選手選考委員会規定に基づき選出された者で構成される。
- ③ 選考は、以下に指定された競技会における成績とパフォーマンスを基に行われる。

2. 強化指定選手期間

- ① 原則として、2019年1月から2020年10月末日までとする。
- ② 上記期間内であっても、競技成績などを考慮して強化指定選手の入れ替えが行われることもある。
- ③ 強化指定選手の入替を行う場合は、主として6月および10月とする。
- ④ けがや不測の事態などにより、選手本人または所属クラブからの辞退があった場合は、上記期間内であっても入れ替えを行う。
- ⑤ 誓約書の内容に反した場合は、いかなる理由でも解任する。

3. JLAハイパフォーマンスチーム

JLAハイパフォーマンスチーム（以下 JHPT）に選ばれた強化指定選手は、各専門種目のトレーニングをはじめ、競技に必要な知識や技術を学び、自身の競技力とチーム力を向上させるための教育を受けることができる。

選手選考委員会により選任された強化指定選手は、以下に定める条件により JHPT・トップ選手、もしくは JHPT・強化育成選手に振り分けられる。

4. JHPT選考に関する条件

① JHPT・トップ選手

日本代表選手としてLWC2020 及びワールドゲームス 2021 の中心となる選手の育成を目的とし、下記の条件を考慮して行う。

- 1) 世界選手権においてB決勝（16位）進出見込みがあること。
- 2) 全日本選手権（プール・オーシャン）で複数種目において優勝経験があること。
- 3) 日本記録保持経験があること。

② JHPT・強化育成選手

日本代表選手としてLWC2020, 2022 及びワールドゲームス 2021 の中心となる選手の発掘、育成を目的とし、下記の条件を考慮して行う。尚、下記条件に優先順位はなく、条件を満たす項目数が多いほど評価が高いものとする。

- 1) プール競技個人種目、全日本選手権8位以内入賞者。
- 2) サーフ種目（パドルボード、サーフスキー、オーシャンマン、オーシャンウーマン）で、世界大会において活躍が期待できる者。
- 3) ビーチ種目（ビーチフラッグス、ビーチスプリント）で、世界大会において活躍が期待できる者。
- 4) プール競技、オーシャン競技での複数個人種目およびチーム種目で活躍が期待できる者。
- 5) エントリー用紙の申告タイムが著しく秀でている者。

③ JHPT・ユース選手

中学1年生～高校3年生で、以下の項目において複数項目が当てはまる者の中から、フィジカルテストを実施し、選手を決定する。※高校3年生は期の途中であっても卒業年度末までとする。

- 1) Sanyo Cup 日本代表、今後の世界選手権における日本代表入りを目指す意思がある者。
- 2) 高いレベルでの競技が可能な身体能力を有する者。
- 3) 日常的にライフセービングのトレーニングを行っている者。
- 4) 中学生で全日本選手権予選会の出場権利を得た者。
- 5) 過去のジュニア・ユース競技会において入賞経験のある者。

5. 選考対象競技会

- ① 全日本プール競技選手権大会
- ② 全日本種目別選手権大会
- ③ 全日本選手権大会
- ④ 国際大会
- ⑤ 全日本学生選手権大会
- ⑥ 全日本学生プール競技選手権大会
- ⑦ 全日本ユース選手権大会
- ⑧ 全日本ユースプール競技会

6. 強化指定選手の区分と人数

- ① JHPT・トップ選手： 年齢制限なし 男女各10～12名
- ② JHPT・強化育成選手： 年齢制限なし 男女各10名程度
- ③ JHPT・ユース選手： 中学1年生～高校3年生 男女各10名程度

●施策

1. JHPT・トップ選手、JHPT・強化育成選手は、強化事業において必要に応じて招聘され、トレーニング・研修などの機会が与えられる。
2. パーソナルプロフィール・傷害調査および体力測定等を実施する。
3. 強化指定選手には、ユニフォームを支給または貸与する。
4. その他必要に応じて国内外での強化合宿や遠征を行い、事業を立案し実施する。

●日本代表チーム選考

日本代表チームについては、日本代表監督がJHPT・トップ選手及び強化育成選手から以下の選考基準を満たす者を中心として、日本代表監督が選出する。

1. プール競技で、世界大会16位想定タイム（B決勝ライン）をクリアした者。（随時更新）
2. 全日本プール選手権で個人種目において、日本新記録を樹立した者。
3. サーフ種目（パドルボード、サーフスキー、オーシャンマン、オーシャンウーマン）で、世界大会において3位以内の入賞を見込める者。
4. ビーチ種目（ビーチフラッグス、ビーチスプリント）で、世界大会において優勝が見込める者。
プール競技、オーシャン競技での複数個人種目およびチーム種目で活躍が期待できる者。

●ユース日本代表チーム選考

世界選手権2020におけるユース日本代表チームについては、ユース日本代表監督が以下の基準を満たす者を中心として選出する。

1. プール種目：ユース日本代表派遣標準タイムを切ること
2. オーシャン種目：全日本選手権8位以内、種目別選手権8位以内
3. プール競技・オーシャン競技において複数種目で以上条件を満たしていること

●その他

強化事業予算に応じて下記をJHP Tに補助する。

1. 強化事業に関係する交通費の宿泊費の一部補助。
2. 日本代表チームおよびユース日本代表チームの国内外派遣に関係する交通費および宿泊費等の補助。

※ 上記に関係する費用を選手が負担する場合がある。負担金について都度、金額など説明を行う。なお、補助の内容については、適宜説明を行う。

●予定

1. 第11期JHP T合宿スケジュール（予定）※日程や内容については、大幅に変更される場合もあります

日 程	対 象	内 容
2019年1月6日	第11期JHP T	顔合わせ
2019年1月20日	第11期JHP T	ビーチ・フィジカル競技強化合宿
2019年2月2日	第11期JHP T	プール・フィジカル競技強化合宿
2019年2月23日	第11期JHP T	ラン・フィジカル強化合宿
2019年3月10日	第11期JHP T	プール競技強化合宿
2019年3月30～31日	第11期JHP T	プール・ビーチ・オーシャン競技強化合宿
2019年4月14日	第11期JHP T	ビーチ・オーシャン強化合宿
2019年5月6日	第11期JHP T	ビーチ強化合宿
2019年6月2日	第11期JHP T	三洋物産 International Lifesaving Cup 選考会
2019年6月23-24日	日本代表	三洋物産 International Lifesaving Cup 日本代表
2019年11月2～4日	第11期JHP T	スイム・ラン・フィジカル強化合宿
2019年11月17日	第11期JHP T ユース	プール強化合宿
2019年12月27～29日	第11期JHP T	プール・フィジカル・オーシャン強化合宿
2020年1月12日	第11期JHP T	ラン・フィジカル競技強化合宿
2020年1月19日	第11期JHP T ユース	プール・ウエイト合宿
2020年2月2日	第11期JHP T	プール・フィジカル強化合宿
2020年3月未定	第11期JHP T ユース	サーフ・ビーチ強化合宿
2020年3月未定	第11期JHP T ユース	プール強化合宿
2020年3月28-29日	第11期JHP T	プール・ビーチ・オーシャン競技強化合宿
2020年4月12日	第11期JHP T	ビーチ・オーシャン強化合宿
2020年6月13～14日	日本代表	三洋物産 International Lifesaving Cup 日本代表
2020年7月（未定）	日本代表	LWC2020 プール・オーシャン競技強化合宿
2020年8月（未定）	日本代表	LWC2020 プール・オーシャン競技強化合宿
2020年9月（未定）	日本代表	LWC2020 プール・オーシャン競技強化合宿

2. 参加予定の国際大会

① Italian Age Group Championships

開催日程：2020年2月（予定）

開催場所：イタリア

開催種目：プール種目

② 三洋物産 インターナショナル ライフセービング カップ 2020

開催日程：2020年6月（予定）

開催場所：日本 福岡県百道浜（予定）

開催種目：オーシャン種目

③ Lifesaving World Championships 2020（世界大会）

開催日程：2020年9月（予定）

開催場所：イタリア

開催種目：プール競技・SERC 競技・オーシャン競技

以上